

京都府立綾部高等学校

分析化学部

地域と歩む由良川保全活動～由良川レンジャー奮闘記～

由良川は大切な地元河川。安全安心な食料生産の確保、生物多様性の保護のため、市や市民、企業、関係団体を巻き込み、多岐に渡る保全活動に取り組んでいる。水田水と河川水の測定、水生生物調査、外来生物の調査、ゴミ捨て禁止の呼びかけ、出前授業、啓発活動・情報発信など。



京都府立久美浜高等学校

農業クラブ

京丹後市久美浜町における海岸マツ林の再生を目指して

海岸マツ林では、近年マツノザイセンチュウによる松枯れの被害が激しく、飛砂による農作物への被害が増加している。そこで、地域と連携し、「松林再生プロジェクト」の活動を実施している。主な取組は、マツの学習、除草や除伐、マツ苗の育苗、植樹、樹後の管理・生育調査など。



大阪府立長尾高等学校

理科研究部

船橋川の水質定点モニタリング

行政が測定していない河川の水質を通年で継続調査し、環境に異変があった時に備えている。月に最低1回の水質調査を実施。また、水質検査ワークショップで水質環境啓発に取り組む。特に、牧野小学校との取り組みは枚方市のいきいき広場と地域連携し、淀川レンジャーとも協働した。



関西創価高等学校

ISS EarthKAM Project Team

TCAP “Think Cosmically and Act Personally!”

地球的問題群の解決やSDGsの実現に向けて、宇宙的視野から発想し、自ら行動を起こせる人を増やすことを目的に活動している。小学校出前授業から市民講座、イベントなど1年間で延べ5000人を超える人に環境問題と地球的問題群、SDGsに対する関心を高めてもらう取り組みを行った。



大阪府立茨木高等学校

茨高 家庭部

笑顔でつなぐ環境! 食と子ども

「食」を良くすることがすべての環境を良くすることにつながると考えている。1日3回環境のこと考え、食品ロスを考え、ごみも考え、またTFTは地球全体のことを考える。具体的には、①環境フェアでのエコ・クッキング②小学生の茨キッズクッキング③市役所のレストランでTFT活動など。



大阪成蹊女子高等学校

キャリア特進コース

食品ロス改善プロジェクト

「食」に対する意識を高め、食品ロスの現状を知り、ロスしない工夫をしてもらうことを目標とし、食べ残し、過剰除去、賞味期限切れによる廃棄などを防ぐための活動を行っている。オープンスクールでより多くの人に活動を情報発信。地域の老人ホームで食品ロスの対策啓発に取り組む。



大阪府立園芸高等学校

ブルーギルバスターズ

特定外来生物ブルーギルの食性調査と防除活動

3年前に箕面山のオケ原池にブルーギルとオオクチバスがいるのを確認した。ここは、水を抜いてこれらを捕獲することはできないので、箕面市上下水道局の許可を得て釣竿を用い1年間で約1000匹のブルーギルを捕獲した。解剖して何を食べているかを調査し環境フォーラムなどで発表した。



清風高等学校

水質改善班

水環境の新たな改善方法～アオコの抑制とヘドロの再利用方法～

アオコが毎年多く発生している池で、ヘドロの表層を除去することで今年のアオコの発生を抑制できた。またヘドロには植物の肥料に有効な成分が含まれていることから、ヘドロの肥料化を試み、工芸作物であるひょうたんの栽培を行い、肥料として有効であることを確認した。



大阪府立農芸高等学校①

酪農専攻

食品廃棄物を活用したエコフィードの可能性

食品廃棄物を濃厚飼料の代替とする発酵飼料の研究に取り組む。飼料の安全性が認められ、高校全国初の「農芸エコフィード」として認証を得た。肥育牛への給与試験で、嗜好性の良い安価な飼料であることを明らかにした。エコフィードを活用した乳製品は地域のイベントで販売した。



大阪府立農芸高等学校②

総合環境部

ひろがれ合鴨水稻同時作

人にも環境にも優しい循環型環境保全型農業の確立を目指し、合鴨水稻同時作を行っている。合鴨による防虫防除などした稻作でよいお米を生産し、鴨に肥育期間を設け鴨肉を生産。お米は米・食味分析鑑定コンクールに出品。鴨肉は「農芸鴨」として企業連携し販売した。



大阪府立堺工科高等学校 定時制課程

生徒会活動部

エコ・プロジェクト

不要な油を使って電気を作る「バイオディーゼル発電機」を作製し、地震・台風等による停電の際に地域に役立てたい。「バイオディーゼル発電機」で電球を点灯する「キャンドル・ナイト」、電動自転車の試乗イベント、「ドローン」を使って近隣の避難マップの作製などを進めている。



大阪府立長野北高等学校

科学同好会

鉄の温泉を使って魚と緑を増やす方法

大阪湾は深刻な貧栄養化に陥り、海中の鉄不足が原因の一つとされている。そこで、南河内地方の石仏鉱泉でフルボ酸鉄を形成しそのまま海まで流れ供給される事で植物プランクトンが増加し、獲量の向上や地球温暖化対策等により大阪湾が豊かになる。という研究に取り組む。